

戦闘における航空機

4機種の兵器の権威

AIRCRAFT

WARFARE

THE BIRTH OF THE AIRCRAFT



ランチェスター戦略の 知られていない事実

【マル秘メルマガ】より 9通目その1

「プロペラの研究」

c. 自動車用のエンジンの製作を始める

話はもとに戻ります。

ランチェスター先生は25歳と26歳の2年間、飛行理論を研究して3冊分の論文をまとめたあと、実際に飛行機を飛ばすには高性能の「ガソリンエンジン」が必要になると考えました。

そこで27歳になったとき、ガソリンエンジンの研究を始めると共に、このエンジンを積んだ自動車を作ることにしました。

それからまる1年をかけ、単気筒による5馬力のエンジンを積んだ試作車が1896年に完成しました。

英国ではこれがガソリンエンジンによる自動車の、第1号になっています。(1995年、これを記念して100周年の大会が開かれたので私も参加しました。)

しかし実際に道路を走ってみると、5馬力では力不足であることが解ったので、すぐ新しいエンジンの製作に取り組みました。

それから6カ月後、2気筒による水平対向で8馬力のエンジンを完成させました。

そしてこのエンジンを最初に作った車のシャーシーに取り付けました。

28歳のときです。

道路の走行実験をしたところ、とてもうまく走れたばかりかエンジンの音が静かだったので、周囲の人から注目されるようになりました。

このときの写真が今でも何枚も残っています。

そのうち金持ちの自動車愛好家から、自動車の製作依頼がくるようになりました。

そこでランチェスター先生は個人企業ながら自動車製造会社を創業し、社長に就任しています。

社名は「ランチェスターエンジン会社」です。

それからおよそ12年間、ランチェスターカーの製作に従事し、いろんな技術の改良や工夫をしています。

(続く)



←「ランチェスターエンジン会社」
工場跡地

Lankester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>